

平成 29 年度

郡上市公共施設適正配置計画検討会議議事録（要録）

会議名	第 2 回 郡上市公共施設適正配置計画検討会議
開催日時	平成 30 年 3 月 23 日（金） 13 時 30 分から 16 時 00 分まで
開催場所	郡上市役所本庁舎 4 階大会議室
委員の出欠状況	海道 清信委員（出席） 森 喜人委員（出席） 水野 秋子委員（出席） 河合 美世子委員（出席） 福手 保成委員（出席） 小椋 和子委員（出席） 山田 白陽委員（欠席） 大石 孝治委員（出席） 古川 昭文委員（出席） 可児 亨委員（出席） 井林 省吾委員（欠席） 山畑 光知哲委員（出席） 美谷添 晃委員（出席） 和田 望美委員（欠席） 中村 千鳥委員（出席）
職務による出席者	三島市長公室長、河合企画課長、鷲見企画課改革推進係長

■会議次第及び要旨

1. 開会

<山畑会長、三島市長公室長よりあいさつ。以下、あいさつ要旨>

（会長）第 1 回検討会議から少し時間が空いたが、この間市役所職員の皆さんに市内のあらゆる施設についての検証を詳細に行っていただいております、本日会議の開催に至ったことを報告する。地元の地域協議会において、公共施設適正配置計画検討会議が立ち上がったことを話題にした際、地域協議会の若い委員からも公共施設の検証をしっかりと進めていくべきだとの賛意の意見も寄せられた。検討会議の会長として、しっかりと報告ができるように進めていきたい。本日は、3名の委員が欠席であるが、定足数に達しているため会議の成立を報告するとともに、前回の決定に基づき本会議は公開で進めるのでよろしく願いたい。

（市長公室長）本日はお忙しい中お集まりいただき感謝する。公共施設適正配置計画に関しては議会も非常に注目をしており、今回の議会一般質問でも現状や進捗状況、今後の進め方等について質問があった。その折にも申し上げたが、公共施設の適正配置にリンクすることとして「小さな拠点とネットワーク」という考え方が必要であるという議論になってきている。「小さな拠点」については本日の報告の中でも説明させていただくが、市民の生活を市全域、旧町村単位、自治会などの各階層に分けた場合、それぞれのエリアにどのような機能が必要なかを改めて考え、公共施設の適正配置のあり方とともに市として整理し、市民の皆さんとのワークショップ等を通じて検討していきたいと考えている。また、今後検討を進めていく中で、公共施設の利活用についての議論が出てくると思う。必要な施設を利活用することは大切だが、一方で今後の市の財政運営の健全化も重要な課題であるため、市としては公共施設等総合管理計画で示した延べ床面積の 34% を削減するという目標も重視し、市民の皆さんとも話し合い、将来負の財産を残さないことについても理解を得ながら適正配置計画を策定していかなければならない。このようなことも踏まえて、本日は報告が中心になるかと思うがご議論いただきたい。

2. 議事

<要綱の定めにより、山畑会長が議長として議事を進行>

(1) 郡上市公共施設適正配置計画について

①第1回公共施設適正配置計画検討会議協議事項等の確認について・・・資料1

②平成29年度の取組みについて（適正配置の考え方と施設評価）・・・資料2

<事務局より、上記①②について一括で説明。>

(会長) 説明を聞けば聞くほど公共施設の適正利用、適正配置は考えていかなければならない問題と感じた。委員の皆さんは各地域の代表ということではないが、それぞれの地域にある施設の現状を知り、考える良い機会になるのではないかと。それぞれの地域や立場でこの検討会議に参加し、これから方向性を考えていただかなければならない。事務局からの説明を受けてご意見を伺いたいと思う。

(委員) 丁寧にきちんとした分析がなされており、議論のたたき台としては良くまとめられた資料である。その上でいくつか質問がある。資料2のP12「耐用年数」とあるが、耐用年数にも減価償却などの法的なもの、壊れてしまうなどの物理的なもの、もう一つは使い勝手などの機能的な耐用年数がある。旧八幡庁舎のように法定耐用年数は超過しても、文化財的な価値があるものもある。したがって、耐用年数については単純な捉え方にならないよう考慮し、議論の幅を広げないといけない。また、資料2のP14にある「稼働率」についてである。文化ホールや多目的ホールの稼働率には前日の準備や片づけなどが含まれているのか。大きなイベントとなると準備等で前日や翌日は使用できない。これらを含んでいないとすると、稼働率は2倍、3倍となることも考えられるため計算を確認する必要がある。

(事務局) 前後の確保が必要になると考えられる部屋等の稼働率については、再度確認したい。

(委員) また資料2のP16について、「物件費」と「工事費」の区分についてどのように分けられているか。

(事務局) 物件費というものは、主に光熱水費や委託料であり、言わば経常的な経費を指している。

(委員) 説明の中で使用料の「減免」について述べられていたが、減免というものは公共目的や公益目的など理由があって行っているものであり、減免をゼロにするのが良いのかということとなると疑問が残る。この減免については、理由、根拠、考え方を整理しておく必要があるのではないかと。また、資料2のP21の例において、機能評価のところで「近隣に類似施設がある」のに「継続」としているが、これは「類似施設がない」の間違いではないか。近隣に類似施設がないので残さなければいけないという考えになるのではないかと。もう一点、「廃止」の考え方についてであるが、物理的に取り壊さないといけないもののほか、公的な施設から民間施設に移行するものなど物理的な廃止以外にいくつかの考え方があると思う。

(事務局) 機能評価の表記に関しては、機能を受ける側の施設と廃止する施設の関係を表記する上で少しあいまいな部分があるので、もう一度考え方の整理をしたい。また、「廃止」に関しては、いわゆる取壊し(除却)のほか、廃止後に「譲渡」や「売却」という含みを持っているものもある。必ずしも廃止イコール取壊しということではなく、次の段階として現状で指定管理を行っている団体等への譲渡や売却なども含まれている。

(委員) この「廃止」だけを見たときに、取り壊しなどの物理的な廃止に捉えてしまう。今後施設をどう取り扱うかとしたときに、廃止後の対応方針をいくつかのタイプに分けておくと良いのではないかと。例えば、文化施設としては廃止するが別の用途へ転用する、複合機能化する、ホールとして使わないのであれば図書館として活用するなど。今後個別の検討をしていく上で見えてくることもあると

思う。また、資料2のP37の順位付けに関して言えば、評価表の耐用年数など現時点の年数で評価を行っている部分があるが、公共施設等総合管理計画は30年間の計画になっているため、適正配置計画についても10年後、20年後、30年後に存続させるのか、また存続させるためにどのような方策が必要か等、現在の断面だけで判断しないよう「時間軸」を入れた方針が必要であるとする。最後に、資料2のP39に関して「案4」としてA施設を改修やリノベーション、場合によっては転用や複合化して存続させるなども考えられる。今後のワークショップでも議論の幅が広がると思われるので検討いただければと思う。

(会長) この評価表自体は、今回検討会議委員が最初に見るのか。

(事務局) 現時点では「案」であるので、市長も議会も目を通していない。

(会長) この350程度あるすべての評価表を検討会議委員が目を通すのは、いつぐらいを想定しているのか。

(事務局) 6月頃には議会へ説明をしたいと考えている。その前に庁内説明を行い、内部合意を得た段階で検討会議の皆さんへも提示したいと考えている。

(会長) これらの過程を含めて、議会の対応はどのように考えているか。

(委員) 議会の一般質問では、大変難しい話なので市長への提案までの時間的に非常にタイトではないかという意見が出た。今のままのスケジュールで大丈夫なのかと。議会としても、検討会議で検討されたものを見させていただくこととなるので、時間的な幅が必要ではないかと考えている。

(事務局) 現在市として進めているのは、所管課が行った一次評価というものを踏まえて、企画課として市全体を見た場合の「事務局案」という形での整理である。その整理というものは、生涯学習施設などの「目的別」の縦系列と、これらを地域(旧町村)に置きなおして考えた場合の視点で行ったものである。この事務局案というものは一つの方向性を示すものであり、必ずしも最終なものではなくこれをもってワークショップに臨むためのベースになるものであると考えている。したがって、市民の皆さんに市の考え方として提示した上で、意見を伺いながら変更していくことはあり得る。

(委員) 議会へもワークショップに参加するように検討委員会から訴えていただきたい。こうしたデータを示していけば、ある程度の考え方は決まってくるのではないかと。

(会長) 議会からも委員が選出されているので、議会の中でのコンセンサスが取られつつあるのかと思っていたが、議会も並行して検討していく状況のようである。

(委員) ちょうど、議長をはじめ委員会構成が変更になる時期でもある。

(会長) 委員の皆さんからそれぞれ意見を伺いたい。

(委員) 社会福祉協議会では、合併当時に福祉のエリア設定を行ったことがあった。その時に、国が示す小学校区単位で統一したエリア設定を行ったものの、結局住民の意識として小学校区に生活圏域を持っている人は少なかったため、現在は旧町村をエリアとして、あとは自治会という単位で考えている。旧町村も場所によってエリアの考え方や住民の方々の「なじみ」に違いがあり、エリアの設定も一括でまとめてしまわないほうが良いと感じた。もう一つは指定管理についてである。社会福祉協議会は、多くの施設の指定管理者となっているが、0円指定にすれば経費が浮くということとなってくると市場原理で福祉サービスを行っている関係上、不採算施設は切り捨てていく必要が出てくる。市場原理だけでなく、市の福祉政策としてどこをセーフティーネットとして押さえていくかという切り口でも検討をしていかないといけない。

(事務局) 拠点の考え方については今委員がおっしゃったとおりであり、我々も地域における意識の違いを認識して検討していかないといけないと認識している。後段の福祉政策と指定管理の件である

が、そもそも公共施設の適正配置については、全ての施設をこのまま維持していくことは難しいという視点に立ってスタートしていることから、そのあたりどのように調整していくかは課題である。

(委員) 市内には保育園と幼稚園を含め20園があり、子ども園が白鳥と八幡にある。また、公立と私立は概ね半々である。そこで、施設評価表について伺いたい。この評価表はそうした保育園にも同じ書式で作成されているのか。また、公立と私立の保育園が併存している地域もある。保育園によっては、例えば北濃のように非常に人数が少なくなっているところもあるが、評価表には地域における児童数の推移や、今後の子どもの推計などが評価表の中に加味され判断できるようなものとなっているのか。

(事務局) 施設の分野に関わらず評価表の書式は統一したものとなっている。但し、検討するにあたっては、子どもの数などの推移を踏まえたものも資料としている。一方、その保育園施設がカバーするエリアはどこまでか、その中では例えば石徹白や小川の保育園との考え方の違いも出てくる。様々な視点から検討していかなければならないと考えている。

(委員) そのあたりが重要であり、判定できるような判断材料を整理していただけると良い。

(委員) 一市民、一住民としては、子どものころに大和の生涯学習センターが建設され、子ども心に素晴らしい施設ができたと思ったが、今となってはそういう時期にとまったのかとの感想である。教育委員としては、現在市内には小学校が22校、中学校が8校あるが、学校は毎日子どもが通って学ぶところであり、公民館や体育館とは違うものと考えている。何を以て適応数とするかということがあるが、子どもが少なくなっている現状で、学校のありかたを考えることは非常に難しいことである。平成31年度から和良小学校と西和良小学校が統合するが、これは地域からの申し出によるものでもあり、このような場合は話が早く進んでいく。教育委員会では、学校統合の話はかなり踏み込んで話しており、市長も含めた総合教育会議でも議論をしている。具体的なことは教育委員会だけで決められることではないものの、中学校についてはスクールバスを活用するという方法も検討できるのではないかと、小学校については1年生が長時間をかけてスクールバスで通うのはいかがなものかなど、もちろん決定はしていないが様々な議論がなされているところである。

(会長) 当初に学校の統合についても皆さんで話し合いましたと言ったが、課題もいろいろあるようなので、市の議論の経過も伺い、市の方針も示していただきながら進めていきたいと思う。

(事務局) 学校については、「施設」という部分では既に評価を行っている。しかしながら、学校のあり方としてはなかなか踏み込んで議論ができる部分ではなく、引き続き「検討」していく施設という分類としている。但し、先ほど説明申し上げたように、学校は施設としては一番大きい分野であるため、例えばどこかに統合しようとした場合、その地域の施設のあり方というものも大きく変わってくる事が考えられる。先ほど委員からもあったように、総合教育会議等でも検討が進められているため、それらの経過や結果も踏まえながら調整していきたい。

(委員) 郡上市総合文化センターの文化ホールについて、使用料が高いから利用できないと聞いたことがあるが、郡上市内全部ホールの使用料は一律となっているのか。

(事務局) 一律とはなっていない。詳細な金額は覚えていないが、文化センターに限って言うと文化ホールを使用するにあたり、事業の内容によっては使用料のほか舞台設営等の業者への委託料が別途発生する場所があると認識している。

(委員) 評価表には建物のことは記載されているが、坂道など立地上不便なところであると、車が利用できない高齢者は利用しにくい状況となる。環境というものも考慮した上で施設を検討していただくと良い。個別の話として、和良町民センターの評価を見ると立地上危険という部分が非該当となって

いるが、確かまったく安全ということではなかったような記憶があるが、もしそうであれば修正をしていただきたいと思う。

(事務局) 立地の状況について、施設を評価するにあたっては一定の考慮をしている。和良町民センターについては坂の上にあり、図書館などに来られる方はどのように考えているかなどについて思い描きながら今後の方向性についても検討している。また、ハザードマップに関しては、確か町民センターの建物自体は危険地域に該当しておらず、隣のグラウンドの一部が危険地域となっているのではないかと認識しているが再度確認する。

(会長) それでは③の平成30年度の取組みについて事務局から説明してもらい、その後質問があればお伺いすることとする。

③平成30年度の取組みについて（合意形成とスケジュール）・・・資料3

<事務局より、資料3に基づき平成30年度の取組みについて説明。>

(会長) 委員から意見があったスケジュールがタイトであると意見に関してはどうか。

(委員) このスケジュールは当初から修正されたものか。

(事務局) 現段階において、議会での指摘後にスケジュールの変更は行っていない。但し、この段階においてはいつまでに延ばすということではなく、目標としては30年度中に仕上げるということが我々のスタンスではある。確かに、ご指摘のとおり過密なスケジュールであり、「小さな拠点とネットワーク」との整合性や他の制約なども踏まえる中で、若干時期的に後ろにずれ込むということも考えられるが、まずは目標をもって取り組んでいきたい。

(会長) 後ろというのは来年の3月31日以降ということもあるのか。

(事務局) 場合によってはそれもあるかも知れないが、現時点でいつまでということではない。

(会長) 心配することは、地域でワークショップをする際に、これまでの検討会議で説明したことを参加者に知ってもらい、ワークショップを開き、それを何回くらいやれば答えが出てくるのかと考えたときにこの期間が十分かということである。

(事務局) ワークショップの予定が7月からであり、お子さんをお持ちの方は夏休みの期間中であることや、検討をする上で1か月に2回行うということは問題がないか、また、意識の醸成の度合いは十分かなどを考えながら進めていくことが必要であると感じている。ここで急ぎすぎるよりも、場合によっては時間をかけることが必要であるなど、進行具合によって以降の予定を変更する可能性は十分考えられる。

(委員) 今回の議会で男女共同参画の条例も上程されており、ワークショップにはぜひ女性も多く参加していただきたい。

(委員) 行政改革の審議をする立場でこの検討会議に参加している。一番心配するのは同じ行革の担当者がどちらの事務もしており、作業量が非常に多いため担当者は大丈夫かということである。人の手当なりを行い増強することが必要ではないかと感じる。また、女性の参加については託児がないと実際は難しいという問題がある。ワークショップに関しては、ワークショップをすれば問題が解決するという楽観的な考えは違うと思っており、課題を共有してどこで折り合いをつけるかを探り合うことをしないといけない。本当に結論を導き出そうとするならば回数が十分ではなく、険悪な場面が出てきてもそれを乗り越えてお互い妥協点を見出すまで議論することに意味がある。そこまでの時間とコストをかけられるのかという心配があり、本当に気持ちがあって参加した人にとってはアリバイ的にワークショップを済ませてしまうのは悔しいと思われる懸念がある。また、30年間で34%の延床

面積削減という目標であるが、今から30年後を考えると今の15歳が45歳となっており、仕事も家庭も充実している年代であることを考えると、現在の中学校3年生や高1年生がどのように考えるかという視点が合ったほうが良いのではないかと思う。30年後に45歳の人が郡上にいてほしい、戻ってきてほしいというのが郡上市としても願いであると思う。15歳、16歳という時期は自分の地域に何もないと簡単に思ってしまう年代であり、その理由として考えられるのは文化的な面であったりする。一躍有名になったカーリングのLS北見を例にすると、今やカーリングは町のアイデンティティとなっており、北見の子どもたちは自分の町に何もないとはいわないと思う。

(会長) 職員の事務量の件は同感であり心配している。また、施設評価表を見せていただくとかなり辛口の評価もされており、事務局の苦労も伺うことができる。昨日の新聞に人事異動が掲載されており、公共施設の適正配置にあたり体制が強化されるような記載があったが強化されるのか。

(事務局) 新聞の表現については分からない部分があるが、現在行っている適正配置計画の策定に向けては現行の行革担当で取り組んでいく。但し、計画策定後の実施に関しては一定の体制も必要となってくる。現在、総務部の財務課という部署が市の財産を管理しているが、新年度より財政課と契約管財課に分かれ市有財産としての公共施設を管理する部門ができたため、それが新聞に出ていたのではないかと推察される。また、行革としては少ない人数ではあるが、課としてもバックアップ体制があるので協力して適正配置計画策定を進めていく。

(委員) 総合管理計画で延床面積を30年で34%としているが、もう少しスピーディーにできないものか。私からすると不要な建物がたくさんあるように見受けられる。このままいくと維持管理に費用がかかり、最終的に借金を若者に押し付けることになる。郡上市を若者に良い形で残していくために我々は何をすべきか、ということを考えなければならない。資料2に「公共施設マネジメントに関する、職員の意識改革と体制の強化」とあるが、これは当然のことである。郡上市民球場を例にすると年間の利用日は75日であり、非常にお金をかけてこの稼働であるが、理由としては芝生が傷むために練習での利用はさせていないという結果であり、この考え方もいかがかと思う。国体の予選(愛知・岐阜・三重・静岡)を白鳥の会場で行うことを決定した。こうした大きい大会を誘致し、利用率を上げることが施設の活用になる。利用が高まり芝生が傷むのであれば、使用料収入により補修をすればよい。市の職員にもこのような意識を持っていただくことが必要である。

(事務局) ただ今職員の意識改革に関する意見をいただいた。先ほど会長からも辛口の評価となっているとのコメントもいただいたが、この施設評価を行う際に担当部署と面談をし、一つひとつの施設についてやり取りを行い、問題意識を持ってもらいながら進めている。まだまだな部分については、これからしっかりやっていく。芝生が傷むのを補修するために使用料を充てるとのご意見をいただいたが、この問題こそが使用料の減免の考え方につながってくると思う。委員からのご指摘にもあったが、減免をすべてなくすといく考え方は市として持ち合わせてはいない。減免措置は必要としながらも、幅広く減免を適用させている市の現状を見たときに、適用方法が妥当かどうかを検討する必要はあるだろうと考えている。

(委員) ワークショップについては、学校も対象となるのか。

(事務局) ワークショップの対象として想定しているのは、機能の複合化の可能性がある施設、各地域においてモデルとなるような施設である。学校施設は個別で検討する施設と考えているので、このワークショップでは対象としない予定である。

(会長) ワークショップにおいて、例えば他の施設と学校施設を一緒に考えたかどうかという意見をもらうことは大丈夫か。

(事務局) 子どもの減少により空き教室が出ているのであれば、そこを他の用途に利用できないかという提案などはあるかもしれない。

(委員) 資料2のP7「公共施設の適正配置と小さな拠点とネットワーク」に関して、2点だけコメントする。1点目は、これから各地域でワークショップを進めるにあたり個別の議論が出ると思うが、全体として総合的に考えた場合、その地域にどのような目標があるか考えなければいけないということ。一つは、コミュニティミニマムとして、その地域でどのような生活サービスを享受できるのか、あるいは保証できるのかということを念頭に置きながら総合的な評価を行うこと。もう一つは、生活だけではなく将来の可能性や地域の活性化、地域の変化への対応力ということも重要な視点である。郡上市は人口減少の過程にあるが、出ていった方が戻ってきていただける方策や、新たに来ていただく方をどう増やすのかも併せて考える必要がある。その上では、移動やアクセス、情報ネットワークをつなげるような方法を確保することについて、各地域でも総合的に考えることが重要。2点目はワークショップの進め方であるが、ワークショップを参加者だけのもので終わらせないように、かわら版のように丁寧にニュースとして参加していない市民の方にお知らせすること。これが合意形成のプロセスとして重要である。今回の計画は痛みを伴う計画となるので、かなりきちんとした議論しておかなければならない。100%の合意は難しいかもしれないが、時間をかけることだけではなく、広報の手段も重要である。

(会長) その他意見はないか。時間も経過しており、そろそろ会を閉じたいと思う。

(2) その他

<特に報告、意見等なし>

3. 閉会

(副会長) 30年間で公共施設の34%を削減するという計画を作ろうとしている大変な仕事である。今後反発も大きくなっていくことが予想されるが、同時に将来のビジョンを作っていく仕事でもあると思う。30年後の郡上市のビジョンを、そして夢を描きながら、この提言を出すときには明るい郡上市の将来を示すことができれば良いと思う。本日はお疲れ様でした。

16:00閉会
